

報道関係 各位

2021年8月29日

株式会社日本レースプロモーション

2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 決勝速報

野尻 智紀(チーム・ムゲン)が、ポール・トゥ・ウィンで今季3勝目を飾る！！

国内レースの最高峰、2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 ツインリンクもてぎ大会の決勝レースが、栃木県ツインリンクもてぎで行われ、野尻 智紀(チーム・ムゲン)がポール・トゥ・ウィンで今シーズン3勝目を飾った。

決勝日当日朝のサーキット上空はやや厚い雲がかかっていたが、決勝レース開始時こは薄曇りとなり気温31度と残暑厳しい中、決勝レースがスタートした。

ポールポジションからスタートした野尻は、安定したスタートを見せトップで1コーナーに。2番手関口 雄飛(カーエネクス チーム インパル)と3番手松下 信治(ビーマックス レーシングチーム)も順位をキープ。5番手スタートの平川 亮(カーエネクス チーム インパル)は一つ順位を上げ4番手に浮上した。

1周目の中段集団で発生したアクシデントで、ランキング3位の福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)がリタイヤを喫してしまうが、上位陣の順位に変動はなくレースは進み、先頭が10周目に入ったところで最初に関口がピットイン。タイヤ交換を済ませると、翌周に野尻、4周後に松下がタイヤ交換を済ませるが、4番手平川はステイアウト。平川は25周終了まで引っ張ってタイヤ交換。平川は、ピットアウトで逆転を狙うが順位は変わらず4番手でコースに復帰した。その後、平川と松下の3番手争いが白熱するが、松下が平川を抑えきり今季2度目の3位表彰台を獲得した。関口も最終ラップでオーバーテイクシステムを存分に使い逆転を狙ったが、わずかに届かず2位表彰台となった。

第5戦を終え、今大会全てのセッションで完璧な走りを見せ今季3勝目を上げた野尻が76ポイントとし、シリーズタイトル獲得に向けて大きく前進。ランキング2位には41ポイントで大湯 都史樹(ティーシーエス・ナカジマレーシング)、関口が39.5ポイントとランキング3位に浮上した。次戦からは、有効ポイント制により、獲得ポイント上位5大会分の総合計でのランキングとなる。

次戦、第6戦は10月16日(土)・17日(日)今大会と同じく栃木県ツインリンクもてぎで開催される。

*記録の詳細は、オフィシャルサイトでご確認ください。

*ポイントランキングは、オフィシャルサイトに掲載いたしますので、そちらをご参照ください。



ポール・トゥ・ウィンで今季3勝目を飾った 野尻 智紀(チーム・ムゲン)